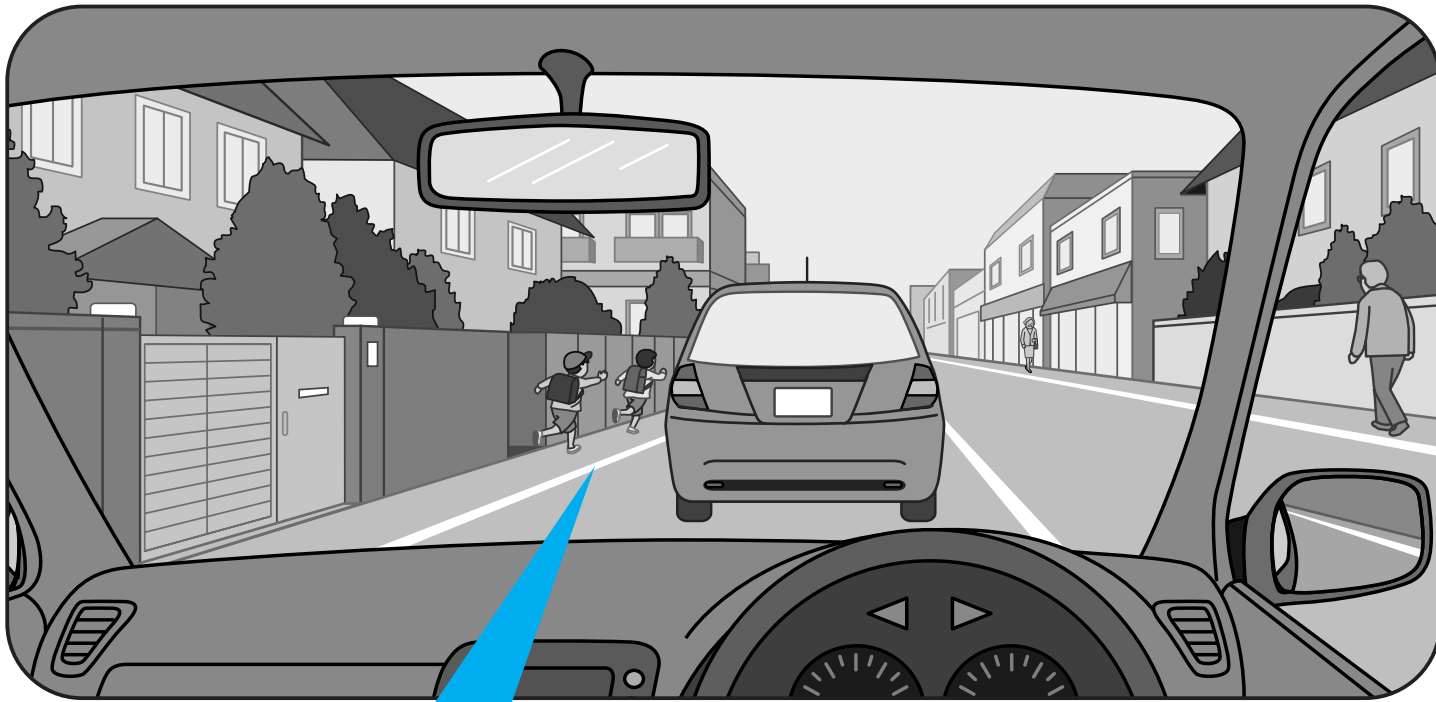


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第32回 道路を子どもが走っている時 (四輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、前車が急停止した時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは前車に続いて生活道路を走っています。
左側の路側帯の内側を二人の子どもが走っています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 13

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



寒河江市・交通安全専門指導員の皆さん
成原明美さん(左)、守ゆかりさん(右)

オリジナルのキャラクターによる寸劇や紙芝居を使って指導

寒河江市は山形県のほぼ中央に位置し、約4万2000人が暮らす都市である。同市市民生活課に所属し、主に子どもや高齢者への交通安全教育を担っているのが成原明美さん、守ゆかりさんの二人だ。

同市が最も力を入れているのは、幼児向けの交通安全教育。市内にある幼稚園・保育所15施設では、1年間に各4回実施している。1回目は、道路を渡る時のルールである「ストップの約束」を伝えるため、「ストップ→手を上げる→右、左、右を確認して渡る」という動作を子どもたちに実践してもらう。2回目は、信号機の色の意味や雨の日の交通安全について寸劇や紙芝居で説明する。3回目は、各幼稚園・保育所周辺の道路を子どもたちに実際に歩いてもらい、指導を行う。4回目は、雪道での安全な歩き方や1年のまとめ。また、小学校就学前の年長クラスではランドセルを背負って歩く練習も行っている。

「楽しく学べる交通安全教室が目標です」と成原さんは話す。寸劇や紙芝居に登場するキャラクターも、カエル(写真参照)や

キツネ、タヌキなどをモチーフにオリジナルなものを考案している。「自分たちも楽しみながら教材を制作しています。それが子どもたちにも楽しんでもらうための秘訣です」と守さん。また、そうした独自の指導の中に、Hondaの交通安全教育プログラム「あやとりい」も取り入れている。「最近では、保護者の方の交通安全に関する意識が希薄になっているように感じま

す。そうした状況からも、幼稚園・保育所での交通安全教室は子どもたちにとって、ますます重要な機会になると思います」と、二人は今後を見据える。

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

★カエルのキャラクターによる寸劇



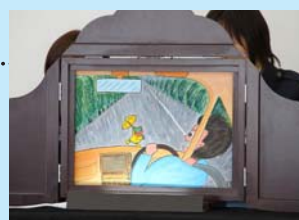
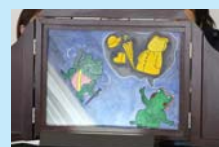
二人が演じる「けろすけとける兄ちゃんの交通安全」。カエルのけろすけとける兄ちゃんが池で魚釣りをしていると、次々に交通標識が釣り上がる。そして、釣り上げた交通標識の意味を子どもたちと確認していく。



交通標識を釣り上げるゲームは、幼児向けの交通安全教室で子どもたちにも体験してもらっているという。釣竿の先には磁石、標識にはビール瓶などの王冠を取り付けている。

★雨の日に目立つ色を伝える紙芝居

黄色の雨ガッパと傘を身につけて歩いていると、クルマのドライバーに見つけてもらいやすいということを理解してもらうために、守さんが紙芝居を自作。

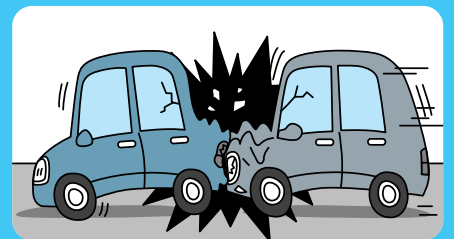


★自転車やクルマに乗る時に守ってほしいことを指導

Hondaの交通安全教育プログラム「あやとりい」を使って、ヘルメットの着用的重要性や、並進はルール違反であることなど、自転車の基本的な交通ルールも幼児期から指導している。また、クルマに乗る時はチャイルドシートを使うように伝えている。

SJクイズ ?

- Q1 平成24年の交通事故件数(66万5138件)を事故類型別にみると、最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？
- ① 正面衝突
 - ② 追突
 - ③ 出会い頭衝突
 - ④ 右折時衝突



- Q2 平成24年の交通事故死者数は4411人と12年連続で減少しました。では、高速道路における死者数の状況は次のうちどれでしょう？
- ① 3年連続で減少した
 - ② 2年連続で減少した
 - ③ 2年連続で増加した
 - ④ 3年連続で増加した

- Q3 平成24年の警察庁とJAFによる調査では、高速道路において後部座席同乗者のシートベルト着用率は何%だったでしょう？
- ① 約55%
 - ② 約65%
 - ③ 約75%
 - ④ 約85%

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)